

SSHサイエンスツアー野外実習(内浦山県民の森)

千葉県鴨川市の内浦山県民の森でサイエンスツアー野外実習を実施しました。ツアーは8月25日(日)～8月27日(火)の2泊3日で実施され、1年生理数科38名・普通科3名、2年生理数科1名の計42名が参加しました。

1日目は佐倉高校から内浦山県民の森まで移動後、斜面林に入り、班ごとに森林調査実習を行いました(写真①②)。1辺が7mのコドラートを作成し、コドラート内の樹木に番号をつけ、位置(座標)、樹種、樹高、胸高直径などを測定しました。また、平らな岩盤でできた川底を観察し、その成因を考察しました。午後は、急斜面を登ってモミ遺存林を観察しました。夕食後の学習会では、森林調査実習の結果を樹冠投影図や植生断面図として、班ごとに模造紙にまとめました(写真③)。

2日目の午前は地学実習で、奥谷林道を妙法生寺まで歩きながら、林道沿いの露頭で三浦層群天津層の地層観察を行いました(写真④～⑥)。堆積構造や断層を観察・スケッチするとともに、地層の傾斜と露頭の湿り具合の関係などを考察しました。昼食は妙法生寺の境内を利用させていただきました。午後は生物実習で、ブナ科、クスノキ科、ツバキ科、トウダイグサ科などの植物について、葉の特徴を捉えながら観察を行いました。夕食後の地学分野の学習会では、日本列島や千葉県の成り立ちについて学習しました。その後は午後の生物実習をもとにして、葉から植物の種類を判断する「葉っぱテスト」が行われました。

3日目は台風が接近していることを考え、県立中央博物館分館海の博物館とその周辺で実習を行いました(写真⑦⑧)。一人ひとりテーマを決めて博物館の見学を行いました。勝浦海中公園展望塔まで足を延ばした生徒もいました。昼食後は海岸に出て、イボニシや海水を用いた実験を行い、ボラの鼻にある黒滝不整合を対岸から観察しました。



↑写真① ↓写真②



↑写真③ ↓写真④



↑写真⑤ ↓写真⑦



↑写真⑥ ↓写真⑧



SSH 活動掲示板は

こちら→



これまでの SSH 通信は

こちら→

